

## 口頭④

### 地域連携

#### ～かかりつけ薬剤師の推進を通して、患者様をサポートする取り組み～

尾久ミキ薬局  
○木村 祥和  
中川 麗

#### 【目的】

調剤報酬改定に伴い、かかりつけ薬剤師制度が導入された。テレビや雑誌で得られる情報は少ないため、認知度が低く必要性を感じない患者様が多いと推測される。かかりつけ薬剤師登録数の増加を目指すには、店舗内での連携が必要であると考えた。

また、本制度を必要とする年齢層では、日常生活の支援を必要とする患者様が多数いるが、薬局ではサポートできる内容が限られている現状がある。そのため地域と連携し多方面から患者様をサポートできる薬局を目指す。

#### 【方法】

- ①かかりつけ薬剤師について患者様の意識調査を行う
- ②投薬時にサポートが必要だと感じた患者様を割り出す
- ③SOAP 記載内容の見直しアンケートを店舗内で実施
- ④地域包括支援センターを通して、患者様の生活をサポートする

#### 【結果】

かかりつけ薬剤師の登録数が増加、SOAP 記載見直し・改善を行うことが出来た。また、地域包括支援センターと連携し、患者様の生活状況の把握と各々に応じたサポート体制を整えることが出来た。

#### 【考察】

情報を収集、整理、分析するには業務の効率化が求められ、患者様、医療関係者との信頼関係の構築が必須である。結果、SOAP 入力の改善により店舗内での情報共有の円滑化、地域を見据えたファーマシューティカルケアの実践により薬局業務の拡大につながったと示唆される。今後は地域に根差した患者様の QOL 改善を目標とし、店舗内外の連携をさらに強化していきたい。